

## 2 「生徒に身に付けさせたい力」は何だろう

### 教科・科目の目標と内容を押さえる

授業を計画するとき、まず学習指導要領を確認します。授業は、学習指導要領に書かれた、各教科・科目の「目標」と「内容」に基づかなければなりません。それが「生徒に身に付けさせたい力」の基盤です。各教科・科目の「目標」「内容」は、「学力の3要素」（序章）を踏まえたものになっています。

### 学校の教育目標を押さえる

教師一人ひとりが生徒に対して「こうなってほしい」「こういう力をつけてほしい」という願いを持つことは、とても重要なことです。しかし、授業は、個人ではなく学校が行うものです。学校が定めている「はぐくみたい生徒像」や「各学校が求める学力（学力向上の目標）」を確認し、その実現のためには、教科・科目として、どのような力を身に付けさせればよいかを考えていくという視点も欠かせません。

1章-2に詳しい説明がありますので、確認しておきましょう。

### 生徒の実態を把握する

以上のような要素を基にして定めた目標に対し、今、目の前の生徒がどのような状況にあるのかを分析していきましょう。何が足りないのか、何が得意で何が不得意なのか。目標と生徒の実態を重ね合わせることで、「生徒に身に付けさせたい力」の姿が、自ずと立ち現れてくるでしょう。

#### ☆「はぐくみたい生徒像」 「各学校が求める学力 （学力向上の目標）」

これについては、「組織的な授業改善に向けて～高等学校における授業研究の取組～」(平成24年3月)に詳しく説明されています。神奈川県が目指す授業の基本となる部分ですので、必ず目を通しておきましょう。

個別支援  
が必要な  
生徒への  
対応を考  
えよう

#### 生徒理解が出発点です！

「身に付けさせたい力」は、生徒一人ひとりの状況に合わせてはぐくんでいくものです。日頃から、生徒の学習全般の傾向、理解・表現の特徴、感じ方などの情報を蓄積するようにしましょう。さらに、既習事項の習得度、特性やつまずきのポイントを把握することが、個に応じ適切に身に付けさせることにつながります。



# 「年間指導計画」の考え方

「年間指導計画」は教材の配列ではなく、年間を通して教科・科目の目標の実現を目指していくための計画となるようにしましょう。

## 〈例〉 数学・数学Ⅰ 平成××年度 「年間指導計画」

教科・科目	数学・数学Ⅰ		学年	第1学年	教科書	××堂「改新編 数学Ⅰ」	
			単位数	4単位	副教材	××出版「問題精査 数学Ⅰ」 ××書店「反復演習 数学Ⅰ」	
学習目標	数と式、図形と計量、二次関数、データの分析の考え方を身に付け、数学のよさを認識できるようにします。また、事象を数学的に考察する能力を養い、問題を解決する力を目標とします。 <b>学習指導要領の各科目の目標を元に記載する。</b>						
学習方法	○ 授業における課題に対して自ら考え、また、周りの生徒と共同で考える活動を行います。 ○ 授業においては数学専用の演習ノートを利用します。 ○ 家庭学習における課題を定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	a 関心・意欲・態度	b 数学的な見方や考え方	c 数学的な技能	d 知識・理解	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析の考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、単元の評価規準の基になるもの。国立教育政策研究所発行の資料に、主な科目についての例示が掲載されている。ここにはないものは、「教科の評価の観点及びその主旨」と学習指導要領の「教科の目標」を参考に、各学校で設定する。 ※定期テストに関しては、上記四つの観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。		
学期	内容のまとめ	単元（題材）	学習内容	評価の観点		単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	(1) 数と式	実数	実数	a	○	a: 数の体系を拡張する過程や数の四則計算に関心をもち、それらを数の考察に活用しようとしている。	・レポート ・確認テスト ・評価規準と対応するように評価方法を準備する。
		当該科目の全ての学習内容におけるバランスを考えて単元（題材）を設定する。	絶対値	学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点に○を付けている。			

参考：「学習評価の手引き」 平成 25 年 1 月 神奈川県教育委員会

具体的な記述の例は、参考資料-2をご覧ください。

教科ごとの「年間指導計画」の考え方については、以下の資料を参考にしてください。

### 評価規準の参考資料

#### ○「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校）」

平成 24 年 7 月、平成 25 年 3 月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター  
<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyuu.html>

#### ○「学習評価の手引き」

平成 25 年 1 月 神奈川県教育委員会